

私が見た図書館

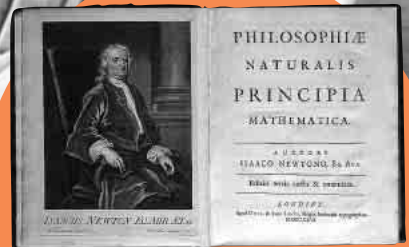
ドイツ語学科 4年次生
山崎紀子

入学して以来、図書館を頻繁に利用している私としてはある程度は図書館のことを知ったつもりでしたが、今年に入ってから今まで知らなかった図書館のサービスや活動を知る機会があり、図書館の良さを新たに発見することが出来ました。今回私の中から紹介させて頂くのは図書館のホームページに掲載されているデータベースについてです。

このホームページにアクセスすれば学外からでも図書館資料の検索が行えるということはすでにご承知の方もいらっしゃると思いますが、その他にも見ていただく価値のあるデータベースが多数あることはご存知でしょうか。例えば、ノーベル文学賞受賞作品や「京都から世界へ」というタイトルで京都関係図書を紹介、更に毎週更新される貴重書のページは画像とともに紹介されています。

また、このデータベースは今後更に様々なテーマを取り上げ、データの追加がされる予定にもなっています。最新のものは110カ国の国々を取り上げ、その国の旅行関係図書を紹介している「世界の旅を素敵なものに」が追加されました。

外国語大学ならではの観点からピックアップされたデータベースを利用することで図書館のサービスや利用方法についてよく知って頂く上に、それぞれのデータベースが新たな興味や発見のきっかけとなり、より充実した図書館の利用にもつながると思いますのでぜひ御覧下さい。



今回紹介する貴重書